

## 講和

### プロフェッショナル授業

#### 金成 美恵（スクールカウンセラー）

金成 美恵さんは、スクールカウンセラーの仕事をしています。スクールカウンセラーの仕事は、カウンセリング（相談）とコンサルテーション（協力）が主な仕事です。他に広報活動や、連携活動をすることもあります。

スクールカウンセラーは相談者が悩みから踏み出した姿を見たり、一緒に希望を見つけられた時などに喜びを感じるそう。しかし、相談者の相談の内容や解決策は一つではないし、他の人と同じでもありません。そのためオーダーメイドの対応策を考えるのがスクールカウンセラーの苦勞。

金成さんは、「臨床心理士」と「公認心理師」の資格を持っています。それぞれは、

名称	種類	補足情報
臨床心理士	民間資格	昭和63（1988）に協会ができ、誕生した
公認心理師	国家資格	2017年9月15日に心理職で初めての国家資格として誕生した

で、大きな違いはありませんが、カウンセリングに必要な資格です。

#### 七島 直毅（IT、エンジニア）

七島 直毅さんはエンジニアの仕事をしています。仕事のやりがい、喜びが「創る」職業ならではの喜びで「自分が作っているものを他人が使っている」こと。確かに、自分の力がいろいろな人たちの生活に役立っている、生活の一部になっていると考えると大きなやりがいを感じられそうです。

ITという職業は働きやすい職業だと思いました。理由は二つあり、「誰でもできる」と「働き方の種類が多い」という点です。

他の職業では高性能で高級な「自分の道具」（プロの道具）が必要です。例えば作曲家などは高級な音響機器や機材が多く、誰でもプロ並みのことをすることは難しいと思われる。



しかし、基本的にITはPCが一台あってネットに繋がればどうにかなります。エンジニア御用達のMacBookなら僕も持っているし、プログラミング言語や、フレームワーク、タスク管理などは無料で誰でもできます。ITは誰でも始められる職業です。

そしてプログラマー、エンジニアはフリーランスとして一人で働くこともできるし、会社に入ってチームで働くこともできます。自分の特性にあった働き方をすることができます。

## 体験学習

### 政治

政治の体験学習では擬似的な選挙の体験や、選挙とは何か、選挙の大切さなどを聞きました。

#### 講話を聞いて

政治は法律、条例、規則を決めたり、税金の使い方を決めたりします。政治をする人が政治家で、政治家を決める方法が「選挙」です。18歳以上の人が出選の有権者となり、選挙に参加し投票をすることができます。

しかし、若い人たち（20代など）の投票率が低いのが現状の問題だそうです。配られた資料によると25%以下です。なぜ投票率が低いのが問題なのかというと、一人投票するだけで結果が変わっている選挙もあるからです。例えば

相模原市の選挙では0.34票差
熊本市の選挙では0票差（同点）

だったことがあるからです。「自分一人が投票したところで変わらない」と思わず投票するのが大切です。さらに僅差で落選、当選した場合



選挙の結果	その人の結果
僅差で落選した	たくさんの人に応援されていることがわかる。
僅差で当選した	危機感、緊張感を持って政治をする

などがあり、結果が変わらずとも政治が変わる可能性があります。良い有権者になり、社会を良くしていきましょう。

良い有権者になるために、社会や政治の動きに関心を持ったり、今の政治の問題点や対応の仕方が優れているのかなどを判断する力を身につけるのが大切です。

## 選挙を体験して

どうして選挙に行かないのかと思うほど簡単だった。そして票数を数えるのが大変そうだった。

実際に、負担を軽減するために票数を数える機械や、文字も認識して自動で集計をする機械もあるらしい。そのため、投票用紙は紙ではなく、プラスチック製の紙を使っています。集計後の投票用紙は当選者の任期が終わるまで厳重に保管され、その後焼却処分になります。

## 他の方の講話を聞いて

体験学習やプロフェッショナル授業の他にもたくさんの講話を聞きました。その中で印象に残ったものを二人まとめます。

### 渡邊 健

健さんはだんだんと視野が狭まっていく病気になりました。今もどんどん小さくなって「五円玉の穴を除いたとき」ぐらいの大きさしか見えていないそうです。しかし、それでも屈せずに前進しています。

なぜなら、知・心・体を重視し大切に人生を生活しているからです。知・心・体は車に例えられるようです。それらがタイヤですべてがパンクせずに整っているから前進できます。車を進める速度は周りにそろえなくてもよく、まっすぐ前進すれば新たな出会いが待っています。

### 渡邊 翠

今までは外国に行ったとき英語が伝わったことに感動して英語教師を目指していました。しかし、宝塚のショーを見たときに衝撃を受け、ダンスがやりたくなりダンスの生活になりました。ダンスにのめりこみ単位もギリギリで授業中もよく寝るようになったそうです。

中学生は人生にかかわるイベントが多いため重要だと言っていました。

## まとめ

たくさんの講話を聞くことができました。いろいろな職業で働くいろいろな人の講話を聴くことができました。しかし、職業に注ぐ情熱ややる気、感じるやりがいなどは変わりませんでした。そして子の講話を聴いて職業に関する関心や、将来の生き方に興味を持ったりし、とても有意義な体験だったと思います。